

後継者不足や事業低迷で、多くの中小企業が休廃業の危機にさらされている。そのなかで「アトツギ創業」を量産する教育機関がある。学生は全員社会人の事業構想大学院大学(東京・港)だ。2012年に開学。修了生の2割は中小の後継者だという。法務や財務分析といった経営スキルではなく、事業モデルを変える発想力が養われたと彼らは口をそろえる。

アトツギ集う創業道場

事業変革の発想方法は3つある

仮設資材レンタル
市場は成熟、でも成長したい
入学
日建リース工業 関山正勝社長 (50)

不動産
金融以外の知見を得たい
コーテリー 河津考樹代表 (40)

地盤改良
業界のイメージを変えたい
SOEIホールディングス 若山圭介社長 (43)

事業構想大学院大学

プロフィール

- ◆ 社会人が2年間学ぶ専門職大学院。2012年開校
- ◆ 修士論文ではなく「事業構想計画書」提出で修了
- ◆ 社会の中から新事業の「種」を見つける人材育てる
- ◆ 理事長は宣伝会議会長の東英弥氏、学長は同社取締役の田中里沙氏

年間150人超のゲスト講師を招く。写真は龍角散・藤井隆太社長(5月)

活魚輸送装置を開発

料亭を外国人宿泊施設に衣替え

訓練施設で働く楽しさ伝授

事業構想大学院大学

祖業に危機感抱き学び直し

内起業家)の顔を持つ。だが、人口減少の影響を「ミドル学生時代」を振り返る。停滞を避ける方策を立案するなか、事業構想大学院大学が外部にある「着想」、アイデアの源を「想像」だ。外によい情報がないか、常に見つめ、情報をつかまえない」と決意は固い。

創業者の次男で、会社を継ぐのは想定外だった。家族誰もが後継者と考えていた兄が急逝したため、勤めていた銀行を退職して、14年に3期生として入学した。

正勝社長(50)は、創業から半世紀たつ企業のトップという立場とは別に、新事業を自ら生み出すイントラプレナー(社

724億円と業界大手。17年9月期の売上高は「発、着、想を学ぶ」

「発、着、想を学ば」

「発、着、想を学ば」

「発、着、想を学ば」

「発、着、想を学ば」

「発、着、想を学ば」

「発、着、想を学ば」

「発、着、想を学ば」

「発、着、想を学ば」

自社の長短洗い出し変革

「喉の市場は小さくない。自分で大きくすればいい」。5月16日夜のゲスト講師は、龍角散の藤井隆太社長だった。借金も一緒に継承して薬品事業を絞る一方、喉に関する新商品を相次ぎ打ち出して経営を再建したという「実録教本」の熱弁を、ネット中継も使って東京、大阪、福岡の学生が熱心に聞いていた。

学生は多士済々

同大学の修了生は延べ約150人。東京急行電鉄やオリエンタルランドなど大企業の新規事業開発者や、地域振興を図る自治体職員がいる。なかでも事業承継者は全体の2割を占める。「先代の事業をそのまま継げば立ちゆかない危機感を持つ承継者は多い。新事業を生み出す考え方を獲得しようと、経営者兼学生になる人が増えている」。学長の田中里沙氏は指摘する。

宿泊施設を運営するコーテリー(東京・港)の河津考樹代表(40)も、そのひとりだ。東京・赤坂で料亭だった建物を外国人宿泊施設に替えた。実家は名古屋市中で不動産を営む。米ボストン大学を卒業後、金融機関などでアセットマネジメントなどに従事したのち、家業に入ったが「金融しか知らなかったの

た。大学ではアイデアから実行に至るプロセスを学んだ。「気づきを拾い出す上で、そぎ落とし、残ったものが新事業で使えると教わった」

不動産につながる事業をしたい。趣味は旅行で世界をまわった。英語も対応できる。市場も成長しそう。気づきを整理したのは31歳の時。創業を導かれたのが、外国人の義父は入社直前に亡くした。宿泊施設だった。和の雰囲気を感じた。5年で業績回復を果たしたが、一時的な成功で満足しなかった。経営改革に正解はない。ただ、迷ったときに学び直し、祖業の改変に踏み込むトップの柔軟な姿勢がアトツギ創業の共通項。その場を提供する事業構想大学院大学は貴重な存在といえる。

来年中に2店舗目を開業する計画だ。新事業を作るだけじゃなく、本業で若い人が集まる体制にすることに力を入れている。地盤改良工事のSOEIホールディングス(東京・新宿)の若山圭介社長(43)は、ごも変え、今年4月には修了後、祖業のイメージチェンジに動いた。15年から毎年15人前後の新卒で採用。現在のグループ従業員250人のうち、新卒は3割を占めるようになった。

「持続できるか不安を持つようになった」。事業構想大学院大学で学び直し、業界の現状を洗い出すうちに、一番の不安要因は働き手だと気づいた。

付く。技術者の高齢化が深刻で、新事業を作るより、本業で若い人が集まる体制にすることに力を入れている。地盤改良工事のSOEIホールディングス(東京・新宿)の若山圭介社長(43)は、ごも変え、今年4月には修了後、祖業のイメージチェンジに動いた。15年から毎年15人前後の新卒で採用。現在のグループ従業員250人のうち、新卒は3割を占めるようになった。

経営改革に正解はない。ただ、迷ったときに学び直し、祖業の改変に踏み込むトップの柔軟な姿勢がアトツギ創業の共通項。その場を提供する事業構想大学院大学は貴重な存在といえる。

(榎原健)

1期生として門をたたいた。修了生は2年間で、修士論文の代わりに新事業の構想を記した事業構想計画書を提出して学位「事業構想修士」を得られる。授業は平日夜と土曜日。マーケティングや事業開発のゼミのほか、年間150人超のゲスト講師の講義がある。

「喉の市場は小さくない。自分で大きくすればいい」。5月16日夜のゲスト講師は、龍角散の藤井隆太社長だった。借金も一緒に継承して薬品事業を絞る一方、喉に関する新商品を相次ぎ打ち出して経営を再建したという「実録教本」の熱弁を、ネット中継も使って東京、大阪、福岡の学生が熱心に聞いていた。

学生は多士済々

同大学の修了生は延べ約150人。東京急行電鉄やオリエンタルランドなど大企業の新規事業開発者や、地域振興を図る自治体職員がいる。なかでも事業承継者は全体の2割を占める。「先代の事業をそのまま継げば立ちゆかない危機感を持つ承継者は多い。新事業を生み出す考え方を獲得しようと、経営者兼学生になる人が増えている」。学長の田中里沙氏は指摘する。

宿泊施設を運営するコーテリー(東京・港)の河津考樹代表(40)も、そのひとりだ。東京・赤坂で料亭だった建物を外国人宿泊施設に替えた。実家は名古屋市中で不動産を営む。米ボストン大学を卒業後、金融機関などでアセットマネジメントなどに従事したのち、家業に入ったが「金融しか知らなかったの

た。大学ではアイデアから実行に至るプロセスを学んだ。「気づきを拾い出す上で、そぎ落とし、残ったものが新事業で使えると教わった」

不動産につながる事業をしたい。趣味は旅行で世界をまわった。英語も対応できる。市場も成長しそう。気づきを整理したのは31歳の時。創業を導かれたのが、外国人の義父は入社直前に亡くした。宿泊施設だった。和の雰囲気を感じた。5年で業績回復を果たしたが、一時的な成功で満足しなかった。経営改革に正解はない。ただ、迷ったときに学び直し、祖業の改変に踏み込むトップの柔軟な姿勢がアトツギ創業の共通項。その場を提供する事業構想大学院大学は貴重な存在といえる。

来年中に2店舗目を開業する計画だ。新事業を作るだけじゃなく、本業で若い人が集まる体制にすることに力を入れている。地盤改良工事のSOEIホールディングス(東京・新宿)の若山圭介社長(43)は、ごも変え、今年4月には修了後、祖業のイメージチェンジに動いた。15年から毎年15人前後の新卒で採用。現在のグループ従業員250人のうち、新卒は3割を占めるようになった。

「持続できるか不安を持つようになった」。事業構想大学院大学で学び直し、業界の現状を洗い出すうちに、一番の不安要因は働き手だと気づいた。

付く。技術者の高齢化が深刻で、新事業を作るより、本業で若い人が集まる体制にすることに力を入れている。地盤改良工事のSOEIホールディングス(東京・新宿)の若山圭介社長(43)は、ごも変え、今年4月には修了後、祖業のイメージチェンジに動いた。15年から毎年15人前後の新卒で採用。現在のグループ従業員250人のうち、新卒は3割を占めるようになった。

経営改革に正解はない。ただ、迷ったときに学び直し、祖業の改変に踏み込むトップの柔軟な姿勢がアトツギ創業の共通項。その場を提供する事業構想大学院大学は貴重な存在といえる。

(榎原健)